

大きな都市の小さな隙間からみえるもの

ビルが建ち並ぶおおきな都市。

人々は、常に時間に追われながら忙しく動いている。

そんな都市の中、人々の最大の快樂となるのは、

現実から遠く離れた、果てのない世界の中にいざなわれること。

ここでは、ビルの間に“苔”が豊かに育つことができる空間をつくりだす。

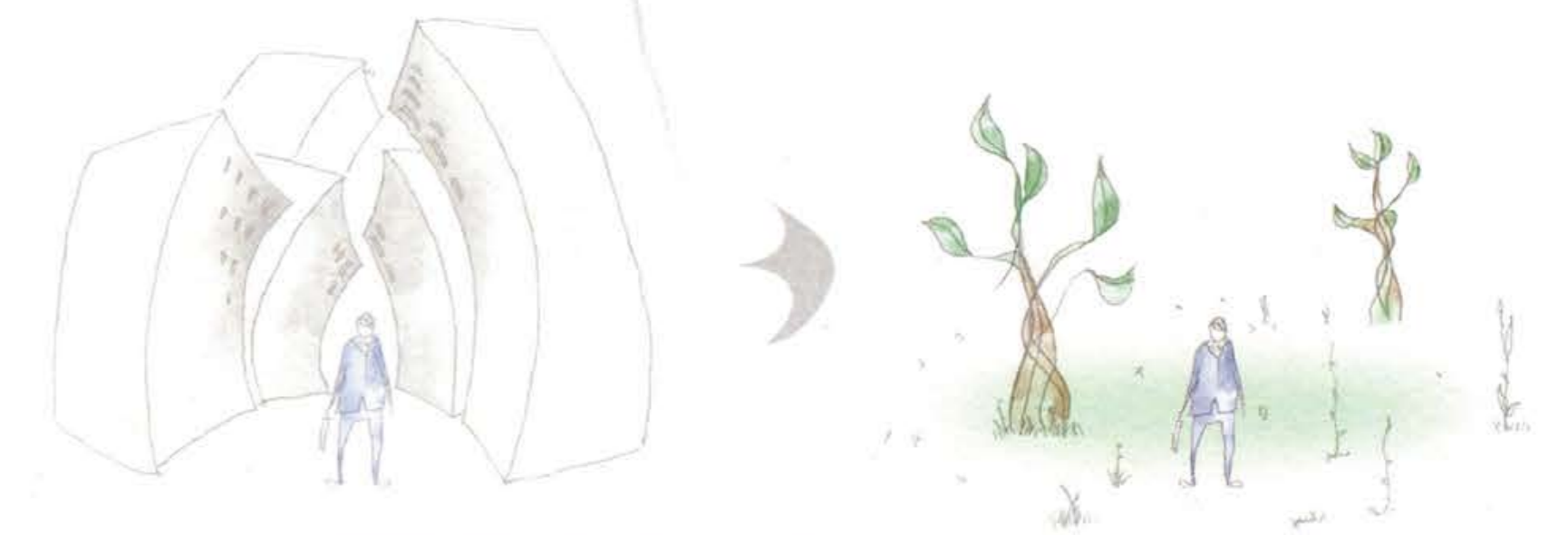
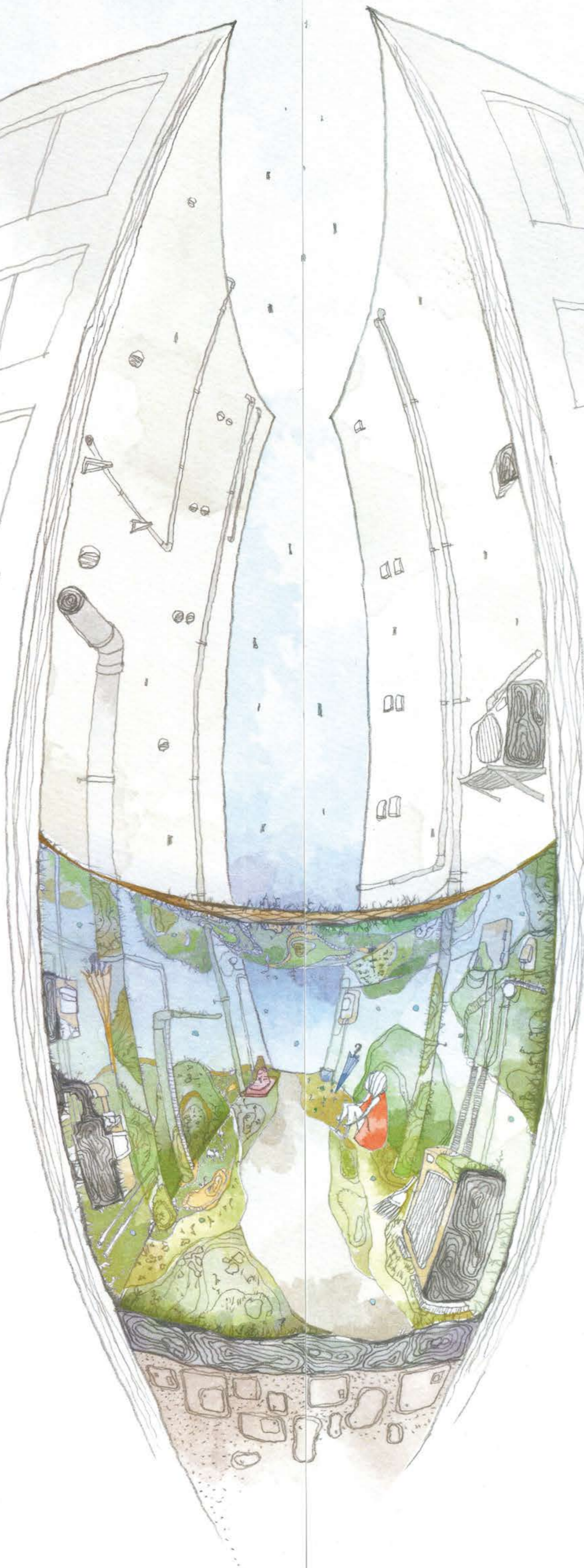
忙しく、おおきな都市とは対比的な

“苔”が生み出すスケールや時間をもたない空間は、

都市の中の人々を現実から遠く離れた、果てのない世界にいざなってくれる。



苔。日本では、古くから親しまれる植物であり、日本庭園や盆栽に見るような自然風景を凝縮した「縮景」や、悠々の時を表現する際に「苔むす」という言葉が用いられる。



大都市の無機質な隙間が大自然のように限りなく広がり、忙しく過ぎゆく時間が生命の生き様を感じられるくらい限りなくゆっくり流れる。

